

(15) 都市ガス業

13 / 12 14 / 13 ◎ 伸び率 10%以上 ● 伸び率 0 ~ ▲ 10%
: 天気図マーク: ● ○ 伸び率 0 ~ 10% ● 伸び率 ▲ 10%以下

1. 企業経営動向

(1) 都市ガス需要動向

- ① 平成13年度の都市ガス大手3社のガス販売量は、前年度に比べ352百万㎡(46MJ/㎡換算。以下同じ。)増加し、18,857百万㎡(対前年度比1.9%増)となった。

これを用途別に見ると、業務用については、景気低迷にもかかわらず堅調に推移し、対前年度比3.3%増加した。また、家庭用については、前年度に比べ需要件数が増加したものの冬期を中心に気温が高めに推移したこと等により、対前年度比▲1.7%の減少となった。

- ② 平成14年度のガス販売量については、気温の平年度化及び家庭用・業務用ともに積極的な需要拡大努力を織り込み、全体としては対前年度比6.3%の増加を見込んでいる。

(2) 中期の見通し

ガス販売量について、家庭用では、今後の住宅着工件数の伸びとともに、都市生活の質的向上に伴う新たな需要の創造等、都市ガスの一層の普及拡大を図っていくことを前提に、また業務用については、他燃料との競合の激化等、依然厳しい環境にあるものの、ビル冷暖房・コージェネレーション分野での都市ガスの利用促進、発電分野における需要拡大等の販売努力を考慮して想定した結果、平成13年度から平成18年度の年平均伸び率は、家庭用1.7%、業務用5.4%、全体で4.1%程度と見込まれる。

(3) 企業業績

都市ガス大手3社の平成13年度の決算は、経常利益が1,575億円となり、前年度と比較して23.6%の増益となった。

これは、収入面においては、料金の引下げによる減収があったものの、原料費調整制度に基づく料金単価の調整等により、売上高は、前年同期比1.3%増の1兆9,614億円となった。また費用面においては、円安の影響等による原材料費の増加や減価償却費の増加があったものの、経営効率化の一層の促進等により、経常費用は前年同期比0.3%減の1兆8,262億円となった。

2. 設備投資動向

(1) 平成13年度実績

平成13年度の設備投資実績額は、姫路基地工事等の大規模工事があったものの、H12-H13共通企業ベース20社では、前年度に比べ65億円(前年度比▲2.1%)の減少となった。

(2) 平成14年度計画

平成14年度の設備投資計画額は、総額2,792億円(調査対象20社)で、前年度に比べ169億円(前年度比▲5.7%)の減少となっている。

3. 長期資金調達・運用動向

(1) 長期資金運用動向

都市ガス業は、調達資金の殆どを設備資金に充当している。なお、平成13年度の関係会社等への投融資の資金調達に占める割合は6.9%程度である。

(2) 長期資金調達動向

- ① 平成13年度の設備資金等の調達は、内部資金が167.9%と調達の額を上回る見込みであることから、社債・借入金等の外部資金は▲60.6%の減少となっている。
- ② 平成14年度の設備資金等の調達計画は、内部資金が99.3%と調達の額を下回る計画であることから、社債・借入金等の外部資金は0.7%の増加となっている。

(グラフ1：設備投資の前年度比の推移)

